



# 答えて市長！

## 一般質問

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり、市の見解をいただきました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は6月上旬となる予定です。

### 高齢化問題にどの様に 取り組むのか

中嶋 通治

問 病気や介護を未然に予防する事により、市民が人生の長い期間を健康で生活できる事を目指す健康長寿のまちづくりを市の施策に位置づけ、強力に推進すべきで有ると提案しますが見解を伺います。

答 市長 高齢になっても安心して住み慣れた地域で自立した生活ができる事が必要である。提案された事はまさにこの考えに沿ったものである。各分野と連携強化しながら取り組みを進めるとともに、将来的には、総合振興計画での位置づけについて検討します。

◆交差点の地点名表示と道標設置を

問 吉川マルシェや駅からハイキング等が開催され、観光客の為に設置するべきで有ると考えるが見解は。

答 都市建設部長 今後検討します。

◆産婦人科の誘致を。

答 市内に一箇所の医療機関で

は不便で安心して出産できないとの声があるが。

答 市長 医師会と今後協議する。

### 市指定医療機関 「抹消問題」の解決を！

稲垣 茂行

問 公正取引委員会が「吉川松伏医師会」に対し、独占禁止法違反を認定し、排除命令措置を出した。市は医師会との関係はどう見直すのか。

答 市長 保健事業を実施して行くためには、対象となる市民が確実に受診できる体制が重要。医師会との信頼関係を基本に、実施体制を構築していく考えに変わりはない。市としては、医師会に対し遺憾の意を表すとともに、排除命令について適正な措置を取り、市民の信頼回復へ向け努力するよう申し入れた。

問 これまでの判断、対応に問題はなかったか。市長の責任は。答 市長 定期予防接種・子宮がん検診・妊婦健診の実施については、出来る限り適正な対応をしている。保健事業全体からすると、市民への影響は最小に抑

えられていると認識している。

問 現在の異常事態は市の判断ミス。係争中にも関わらず、市療機関から除外した結果であり、個別契約を結ばなかったことで混乱と不安を増幅させたのではないか。

答 市長 最大限努力している。

### より安心な生活を送る為の 放射能対策について

稲葉 剛治

問 放射能は流行とは違い、人が存在を忘れたからといって無力になるわけではない。放射能の影響は小さい子供に出やすいと言われている。20年、30年後の為に子供の未来を守る為の問題を解決したいと考える。そこで、甲状腺エコー検査実施の見解、尿検査による内部被曝対策についての見解は。

答 政策室長 福島県では18歳以下の子供達に対して超音波による甲状腺検査を実施しているが、外の子供達と変わらない。この事から吉川市では、甲状腺に関

する検査をする必要はないと考えている。尿検査に関して、尿の量、濃度に大きく左右される事がある。福島県では現在、ホールボディカウンターによる検査を継続的に実施しているが、健康に影響が及ぶ数値ではなかったとの事から、吉川市では、内部被曝に関する検査は必要ないと認識している。

問 給食食材の放射能検出限界値を下げる事についての見解を。

答 政策室長 現在の検出限界値でも問題ないと考えている。

### 公用車の交通事故防止対策 の更なる充実を

互 金次郎

問 公用車を運転する当市の職員は、交通ルールを遵守し、安全運転を心がけていると思えます。しかし、ヒューマンエラーやヒヤリハットに象徴されるように、一つ間違えば「被害者」「加害者」になりかねない事故リスク環境に囲まれています。

答 政策室長 実際に発生した公用車事故の事例及び予防策をまとめたものを作成し情報の共有を行います。さらに、運転者への「安全運転の声かけ実施」の定着に取り組み、安全運転意識の向上を図ります。

防止対策の有効性から国土交通省や警察庁がその活用を推奨し先進自治体にも導入が進んでいます。当市も導入を検討しては。答 総務部長 ドライブレコーダの設置は安全運転の意識向上のツールになると思われれます。坂戸市等の公用車の事故発生改善状況を調査・研究します。

### なまりんと一緒に健康・ 体力づくりの推進を

五十嵐 恵千子

問 2025年以降は、4人に1人が65歳以上の超高齢社会になります。健康寿命の向上を目指し、①誰もが運動に親しむことができる環境を。②「なまらん体操」拡充のために、気軽に取り組めるDVDの配布や動画配信など、市民からの要望がありますが見解を。③子どもから大人まで、幅広く支持されるような「なまりんダンス」を公募でつくり、市民総体で健康・体力づくりの高揚を図っては。

答 市長 ②健康づくりの必要性を説明しながら、なまらん体操を多くの自治会で実施できるように支援していく。DVDの配布と動画配信は、著作権の問題とHPの容量制限等があり、現在行う事は難しい。③なまらん体操の発展は今後研究。市民総体での健康づくりは実施を検討。

◆「コール・リコール」で女性特有のがん検診の受診率向上を

問 事業実績と今後の取組みは。

答 市長 無料クーポン配布は効果があった。さらに努めていく。

### 美南駅東口周辺地区 区画整理事業の方向性を

小野 潔

問 「文化・芸術を感じられる」「森の駅」をコンセプトに作られた美南駅との融合性について、またコンパクトシティ、スマートタウン・エコタウン構想を取入れてはどうか。

答 都市建設部長 美南駅と一体的なまち、省エネ、創エネ、蓄エネを条件に工夫をしていく。

◆市立図書館及び学校図書館に「読書通帳」の導入を

問 自動貸出機で借りた本のデータが、併設される読書通帳機に送られ、通帳を入れると借りた本の「タイトル」「著者名」「貸出日」が記載される仕組みとなっている読書通帳の導入を。

答 教育長 他市の導入の成果などを見て、指定管理者と協議し研究していく。

問 美南駅でのジャズナイト、美南自治会まつりの支援のため自治体主体の「クラウドファンディング」ネット上で寄付や少額のお金を払う税金に頼らない新たな資金調達の推進を。

答 政策室長 シティプロモーションの上でどの様な効果があるのか調査・研究する。